

# ここに注目してみよう!

## 佐倉城は「土づくり」の城

日本のお城という石垣をつかった大きな城をイメージするかと思いますが、佐倉城には石垣がつかわれていません。その代わりに自然の地形を活かし、土塁やお堀で守りを固めた「土づくり」の城なのです。今は、残念ながら建物は残っていませんが、城全体の遺構や土塁、お堀が残っています。



佐倉城跡の空撮写真

空から撮影した写真から城全体の形がよくわかります。城跡を歩いてみると、土塁やお堀を見つけることができます。じっくり探して見て下さい。

## かやぶき屋根の武家屋敷

佐倉の武家屋敷のうち、旧河原家住宅と旧但馬家住宅のふたつは、今ではなかなか見られない「かやぶき屋根」のお屋敷です。もうひとつの旧武居家住宅もむかしは、この屋根でした。「かや」とは屋根をかたちづくる草をまとめて呼んだものです。チガヤやススキ、ヨシなどの種類があります。

かやの他に、竹や縄、杉の皮などの材料が使われています。どこにどの材料が使われているか、よく観察してみましょう。



旧但馬家住宅の屋根

## 坂道がおおい城下町



ひよどり坂

佐倉の町並みを歩くと坂が多く、「ひよどり坂」や「くらやみ坂」といった名前の付いた坂道があることに気が付くのではないのでしょうか。

佐倉の町並みを歩くと坂が多く、「ひよどり坂」や「くらやみ坂」といった名前の付いた坂道があることに気が付くのではないのでしょうか。

## 江戸の祭礼を受け継ぐ

毎年10月第2金・土・日の3日間は、「佐倉の秋祭り」が盛大に行われます。祭りは江戸時代から行われ続けているもので、麻賀多神社のおみこしが佐倉の町中をまわります。

おみこしの他には、山車やお神酒所が引きまわされ、祭りをさらに盛り上げます。佐倉の山車は、かつて江戸(昔の東京)で使われていたもので、いまの東京では見ることができないものです。こうした昔からの祭りの文化を佐倉の人々は大切にしながら受け継いでいます。



麻賀多神社にもどるおみこし

## 順天堂の昔の手術道具

いまは、病気やケガを治すために手術を行うことは当たり前となっていますが、順天堂が開かれた江戸時代の終わりは難しい手術ができる医師は多くありませんでした。当時の進んだ医学を学んでいた佐藤泰然は、多くの手術を成功させたことでも知られています。佐倉順天堂記念館では



天然痘の予防接種で使われた道具

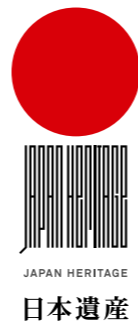
泰然が使っていた手術道具などを展示しています。いまの手術道具とのちがいを考えながら、どんな道具なのか見学してみてください。

## 旧堀田邸のくぎかくし

旧堀田邸内の柱の上の方に、「くぎかくし」と呼ばれる金具があるのに気が付くでしょうか。「くぎかくし」は、もともとは建物に打ったくぎをかくすための金具でしたが、建物のかざりとしてさまざまなデザインのものを作られるようになりました。旧堀田邸では、堀田家の家紋にちなんで「キリ」と「タチバナ」、庭園に植えられた「カエデ」の3種類のくぎかくしがあります。どこにどのくぎかくしがあるのか、よく探してみてください。



キリ タチバナ カエデ



日本遺産



# 城下町佐倉 学習ガイドマップ



## 日本遺産「北総四都市江戸紀行」ってなに?

「日本遺産」とは、日本各地に残されている古い建物や遺跡、お祭りなどの文化財やそれにまつわる歴史・文化の魅力やすばらしさを、日本や世界へ広く発信していくことをねらいとし、国が認定したものです。

「北総四都市江戸紀行」は、この日本遺産のひとつです。北総とは、千葉県のある房総半島の北の方を指します。佐倉と同じく江戸と深いかわりをもつ成田・佐原(香取市)・銚子の4つの都市が認定されています。

佐倉は、佐倉城跡や武家屋敷、古い町並み、佐倉順天堂記念館、旧堀田邸などの文化財がある城下町として知られています。このマップでは佐倉にある日本遺産「北総四都市江戸紀行」の文化財をかんたんに紹介しています。



学校	年	組	名前

# 城下町佐倉見どころマップ



## 【城下町佐倉を知る4つのポイント】

## 城と町のなりたち

佐倉城は、400年くらい前に江戸の東を守る城として土井利勝によってつくられました。佐倉城の城主は、江戸幕府の重要な役職をつとめた人物が多く、政治と軍事の面で江戸を支えました。

そして、お城をつくるのにあわせて、町や街道が整備されて、城下町が発展していきました。佐倉はいまでもむかしながらの町並みや祭りが残っている地域として知られています。

さらに、江戸時代の終わり頃（170年くらい前）、佐倉の城主だった堀田正睦は、ヨーロッパ、とくにオランダの進んだ学問（蘭学）を積極的に取り入れました。その結果、佐藤泰然によって順天堂が開かれるなど、佐倉は蘭学の研究で全国に知られるようになったのです。

正睦をはじめ、歴代の城主の中でも堀田家は長く佐倉を治めた大名家です。正睦の子どもで最後の城主となった正倫は、明治時代になった後も、佐倉のために尽力し地域の人々の親しまれました。

こうした地域の歴史や文化を今に伝えてくれる場所や建物、資料などを「文化財」と呼びます。現在の佐倉も城下町の歴史・文化を知ることができる文化財が多く残っています。

### 【町のなりたちに大きくかかわった人物】



### 政治・軍事の面で江戸を支えた佐倉



日本100名城の一つにもなっています。城跡内には、国立歴史民俗博物館もあり、日本の歴史や文化を見て学ぶことができます。

### 江戸の趣きを感じる町並み・文化



お城がつくられると、武士がくらす屋敷もつくられました。3つの武家屋敷が公開され、当時のくらしを感じることができます。



城主や武士、町の人々などから広く信仰を集めた神社です。現在の本殿は、堀田正睦によってつくられました。

### 蘭学の先進地であった佐倉



江戸から佐倉に移住した蘭医学者・佐藤泰然によって開かれました。今は、記念館として医学の歴史を伝える資料を展示しています。



日本ではじめてのオランダ辞書辞典をはじめとする貴重な資料群です。佐倉高校の地域交流施設で公開されています(土日・祝日のみ)。

### 地域の象徴であった大名家・堀田家



最後の佐倉藩主である堀田正倫の邸宅と庭園です。正倫はここに移り住み、佐倉のために力をつくしました。

基大寺にある堀田家の墓所です。正睦や正倫など堀田家の人々のお墓があり、現在も地域の人々に親しまれています。